

現代建築の可能性の追求と展開

横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授

西沢立衛



私の研究は現代建築の可能性の追求と展開です。現代建築の技術的・空間的可能性を、実作の設計を通して研究しています。いくつものテーマがありますが、大きく言えば、環境を作る建築、自然と建築の融合、歴史との連続、です。ここでは具体例として、3例を挙げてご説明します。

1 ロスビロスの住宅

ロスビロスの住宅は、太平洋に面するチリの砂漠の、小さな岬の突端にたつ週末住宅です。岬が小さいために三方を海に囲まれて、その三方とも断崖絶壁になっているという状況です。下方から吹き上げてくる強い潮風対策として、構造的にもっとも安定した形状であるヴォールト構造RC造としました。岬の形に沿って、東西方向にヴォールト屋根が形と寸法を変えながら3回反復し、室内を確保します。造形的特徴としてはヴォールト屋根ということに加えて、平面的にも断面的にも自由曲線を使っていることがあります。自然という外的条件と、住まいという内的条件の両方に適応する建築



写真：西沢立衛建築設計事務所

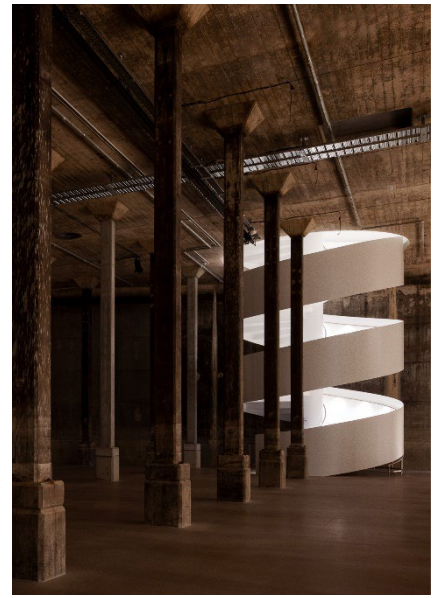
の姿として、地形や室内用途に合わせて形状を自由に変えることができる自由曲線がもっともふさわしいと考えたからです。人を守る安全性と強さを確保しつつも外的要因に対応可能な柔らかさと軽さを持つこと、建築が人の活動や自然の条件に適合すること、などがここで大きなテーマとなっています。

2 シドニー現代美術館新館

シドニーの州立美術館の新館として建てられた美術館の計画です。シドニー・オペラハウスが立つ岬の根元にある自然公園に州立美術館は建っており、そのすぐ隣の、段々状に造成された傾斜地が本計画の敷地です。敷地には土圧を受ける古い大きな擁壁が二枚横切り、敷地全体が自然公園の丘から港に向かって段々状に降りてゆく形状になっています。最下層の港に面したレベルには、歴史的遺構である給油タンクが埋まっており、また最も高いレベルである丘の上は、敷地の平らな部分のほとんどが首都高速の人工地盤となっています。敷地の過半が人工物に占められているという厳しい状況です。他方で、人工地盤、擁壁、給油タンクはどれも、シドニーの近代化の過程で作られたものであり、それらはシドニーの近代史を象徴する歴史遺構とも言え、私たちはそれらを保存する道を模索しました。ここを訪れる人々が、美術品を鑑賞するだけでなく、シドニー固有の歴史遺構の数々をも体験できるような美術館です。具体的には、展示室のボリューム三つを段々形状の敷地の各レベルに配置して、それらの隙間が公共動線空間になり、丘の上から給油タンクのレベルまで人々が降りて行ける空間構成としました。丘の上の人工地盤レベルからスタートして、擁壁に沿って降りてゆき、最後は給油タンクに至るという動線の中で、人々はアートを鑑賞したり、敷地の形状や歴史遺構を体験したり、または港や公園への眺望を楽しんだりすることができます。最下層の給油タンクは展示室として改修して、美術と歴史（古い給油タンク）の両方を体験できる空間としました。ここでの大きなテーマは、環境との調和、歴史との調和等です。



ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館の新館、SANAA
Photo © Iwan Baan



「タンク」ギャラリー、SANAA
Photo © Art Gallery of New South Wales,
Jenni Carter

3 軽井沢のホテル

軽井沢に立つホテルの計画です。日本の気候風土にあった建築の姿を求めた結果、木造建築としました。また分棟形式を採用して、一室＝一棟とし、それらの棟が回廊と庭によってつながれる、といういわば寝殿造の現代版のような構成を採りました。回廊を半屋外化して、庭と一体化した空間としました。人は棟から棟へ移動するとき庭を感じ、軽井沢の自然を感じます。また客室は独立しているために、室内にいたときも自然に囲まれた雰囲気を感じることができます。ここでのテーマは、自然と建築の融合、歴史との調和などです。



写真：西沢立衛建築設計事務所

この研究に取り組んでいるのは

西沢立衛(にしざわ りゅうえ)

横浜国立大学都市科学部/大学院都市イノベーション研究院 教授
横浜国立大学大学院修了後、妹島和世建築設計事務所入所。

1995年妹島和世とSANAA設立。

1997年西沢立衛建築設計事務所を設立。

URL : <http://www.ryuenishizawa.com>



本棚 参考図書のご紹介

高校生向け書籍

- ・「建築について話してみよう」西沢立衛著（王国社・2007年）
- ・「続・建築について話してみよう」西沢立衛著（王国社・2012年）

より詳しく知りたい人は（専門向け）

- ・「西沢立衛建築設計事務所ディテール集」西沢立衛建築設計事務所 編著（彰国社・2010年）
- ・「KAZUYO SEJIMA RYUE NISHIZAWA SANAA 1987-2005 Vol. 1 / 2005-2015 Vol. 2 / 2014-2021 Vol. 3」
妹島和世、西沢立衛著（TOTO出版・2021年）

最近の建築作品

- ・「House in Los Vilos」（チリ・ロスビロス、2019年）/ 西沢立衛建築設計事務所
- ・「シドニー・モダン・プロジェクト」（オーストラリア・シドニー、2022年）/ SANAA
- ・「しいわハウスNo.3」（長野県・軽井沢、2023年）/ 西沢立衛建築設計事務所